



JASDAQ

2012 年 3 月 9 日

各 位

会 社 名 マックスバリュ北海道株式会社
代表者名 代表取締役社長 山 尾 啓 一
(JASDAQ・コード 7465)
問合せ先 役職・氏名
取締役経営管理本部長 平田 炎
電 話 011-631-5192

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2011年3月16日に公表いたしました2012年1月期(2011年2月1日～2012年1月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

2012 年1月期 通期業績予想数値の修正(2011 年2月1日～2012 年1月 31 日)

修正の内容

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	80, 000	490	480	20	2. 93
今回発表予想(B)	80, 739	858	860	103	15. 11
増減額(B-A)	739	368	380	83	—
増減率(%)	0. 9	75. 1	79. 2	415. 0	—
(ご参考)					
前期実績 2011 年1月期	77, 518	482	477	192	28. 23

修正の理由

当事業年度における北海道地域の経済は、個人消費、民間設備投資、観光業等の一部に持ち直しの動きが見られるものの北海道経済全体としては依然厳しい状況が続いております。また、未曾有の災害となった東日本大震災の影響は、消費マインドの低下や自粛ムードの広がりといった大きな変化をもたらし、依然として雇用不安や個人消費に対する不透明感は、拭いきれておりません。このような環境の下、当社は店舗競争力の強化、現場力の強化に取り組んでまいりました。札幌圏中心部の地下鉄隣接店舗を中心に「品揃え」「売場づくり」「サービス」を大幅に見直し、6店舗の改装を実施いたしました。

また2010年度よりスタートした価格競争力強化の「ザ・ビッグ」店舗につきましても道央圏3店舗の転換に加え、新たに道東圏の3店舗を業態転換し、ドミナントエリアの拡大を行いました。イオンのグループ力を活かした商品調達やプライベートブランド商品の拡大により、売上総利益高の改善にも結びつきました。また、節電対策等の実施、店舗賃借料、店舗維持費、修繕費等の経費削減を行いました。

以上の結果、当事業年度の業績は営業利益、経常利益、当期純利益ともに予想を上回る見込みであります。

なお、2011年12月2日付で法人税率引き下げに関連する法律が公布されたことに伴い、繰延税金資産を取崩し、1億18百万円を法人税等調整額に計上いたしております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき算出したものであり実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上